

秋田西高生による国際理解・国際協力についての出前授業 (平成27年度 高校生未来創造支援事業)

国際理解教育同好会はこれまで様々な学習会や体験授業を通し、国際理解や国際協力について学び、この2年間はバングラディッシュのフェアトレード手工芸品やコーヒーを販売し、その売上げを現地の女子高生に奨学金として渡すことができました。

これらの活動で生徒は国際理解や国際協力は身近なことから始まり、簡単に実行できることを実感しました。また、その感覚を地域の若い世代にも感じてほしいと考え、追分小学校での出前授業を計画・実施しました。

この出前授業を通して、追分小学校の児童には世界の多様性に触れ、世界を身近に感じながら、同時に日本という国、自分の住んでいる地域を改めて見つめ直す機会を持ってもらえたと感じています。

- ・日 時 平成27年 9月24日(木) 5・6校時
- ・対象学年クラス 第5学年2クラス
5校時(5年2組) 13:55~14:40(45) 35名
6校時(5年1組) 14:45~15:30(45) 36名
- ・訪問生徒 3年生(女子)7名 2年生(女子)4名 計11名
- ・授業の内容

「国あてクイズ(地球の食卓)」を通し、世界の多様性に触れるとともに、他の国に住む人々を身近に感じられるようにすることを目標としたグループワーク中心の形態で、最後に各グループから「気づいたこと」、「日本と同じ点、違う点」、「どこの国か」を発表してもらいクラス全体で気づきをシェアするという内容です。

